



— 審議概要 —

- ◎動物の映像に加えて、トーク、コント、クイズ、専門家の解説などバラエティに富んだ構成だったにもかかわらず、流れがスムーズでめりはりもあり、よくまとまっていた。
- ◎「動物×お笑い×専門家」の組み合わせが面白かった。教養とお笑いのバランスがよく、家族で楽しめる内容だった。
- ◎動物を扱った番組は「癒し系」が多い中、「動物から学ぶ」という視点が新しかった。動物へのリスペクトも感じられ、それが一貫して番組の軸になっていた。番組タイトルもその趣旨が伝わるうまいネーミングだと思った。
- ◎動物の知らなかった生態も多く学びになった。
- ◎スタジオトークの並び方が、合成で「近さ」を表現していて良かった。いまテレビは、むしろ「ディスタンス（遠さ）」に配慮して強調する傾向だが、現在なりの工夫だと思った。
- ◎登場する動物が多すぎて、強く印象に残らなかった。取り上げる動物をもう少し絞り込んで、深く掘り下げてほしかった。
- ◎もう少し専門家の解説を増やした方が、番組に深みが出たのではないか。
- ◎教養や情報の要素が多いと番組が固くなってしまうのは理解できるが、芸人のコントのコーナーは必要だったか？
- ◎コロナで取材に様々な制約があるのはわかるが、出演者によるロケが1カ所だけだったのは物足りない気がした。
- ◎コロナ禍で若者もテレビを見る機会が増えている。もっと若者を惹きつけるような企画にも挑戦してほしい。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りの参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は2021年4月8日（木）の予定です。